

事業所名		障害児通所支援　みによん				支援プログラム（児童発達支援）				作成日		7	年	3	月	14	日	
法人（事業所）理念		こどもたちの人権や主体性を尊重し、こどもたちにとって大好きな施設、保護者様に信頼される施設となるよう、安全・安心で良質なサービスを提供します。また、こどもたちが「できた」という成功体験を積むことで、自信を持って生活できるよう、様々な活動や環境を提供します。																
支援方針		「楽しさあふれる空間で「好き」と「できる」をみつけよう。自分らしく未来を歩む力を育てよう」 幼児を対象に年齢・発達段階に合わせた療育を行っています。音楽療法・キッズヨガ・えいごでF U N ・フラ体操等を実施する中で、一人ひとりの出来ることや好きなことを大切に、達成感・満足感を感じられるような活動を提供しています。																
営業時間		9時00分から18時00分まで				送迎実施の有無				あり				なし				
		支 援 内 容																
本人支援	健康・生活	・毎日、検温を実施し、健康管理に気を配りながら必要に応じた対応を行います。 ・一日の流れの中で身辺自立の練習や食事のマナー、片付け等の基本的な生活習慣を身に付けていきます。																
	運動・感覚	・基礎体力の向上として、ワークアウトやフラ体操、キッズヨガを取り入れていきます。 ・音楽療法やリトミック、ミュージックケアで感覚を刺激しながら精神の安定を図ります。 ・製作活動や個別課題を通して手や指先の感覚向上を図ると同時に達成感が持てるよう支援します。																
	認知・行動	・認知や感覚の特性に合わせ、安心して過ごせるよう環境を整備します。 ・スモールステップで成功体験を重ね、適切な行動に繋がるよう支援します。 ・いろいろな活動や遊びを提供し、個々の余暇活動の充実に繋げていきます。																
	言語コミュニケーション	・個々の状況に合わせ、言葉だけではなく視覚支援やジェスチャー、手話、マカトンサインでのコミュニケーション力を高め、意思表示、意思決定につながるよう支援します。 ・生活の中で、相手と同じものに注意を向けて行動や意図を理解・推測したり、場面に応じた言動や対応を含めたコミュニケーションの向上を目指します。 ・一人ひとりの発達段階に応じて視覚支援やジェスチャーも取り入れながらコミュニケーションが取れるように支援します。																
	人間関係社会性	・小学校入学を見据えて、ルールを身に付け、集団活動への参加や友達との関わりを練習していきます。 ・SSTの課題も取り入れ、感情の理解や他者との接し方を練習します。 ・自己肯定感を持ち、気持ちや感情を調整しながら状況に応じた行動ができるよう支援します。																
家族支援		・働く保護者の負担軽減として、学校や家庭への送迎、延長支援を実施しています。 ・不安を抱えている保護者に対する心理的なケアや兄弟姉妹に対する支援の促進を図ります。				移行支援				・就学説明会の開催、保育所、幼稚園への訪問を行い情報の共有を図りながら小学校入学をサポートします。								
地域支援・地域連携		・実習生やボランティアを受入れ、障がいに対しての理解を深めたり、福祉人材の育成に繋がります。 ・必要に応じて、随時関係各所と連携して支援会議を開催します。				職員の質の向上				・外部のセミナーや研修に参加したり、ケースカンファレンスを通して職員の資質向上と支援内容の向上に努めます。 ・各種社会福祉関連資格取得を推進しています。								
主な行事等		（毎月）誕生会・避難訓練・音楽療法・キッズヨガ・フラ体操・リトミック・ワークアウト・遊戯療法・ミュージックケア （集会）新年会・お花見・こどもの日・七夕・お月見・ハロウィン・クリスマス・豆まき・ひな祭り （その他）製作活動・買い物練習・外食・公共交通機関利用訓練・おやつ作り・工場見学等																